

## 2022年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年5月13日

上場会社名 株式会社 ASJ 上場取引所 東  
 コード番号 2351 URL <https://www.asj.ad.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 丸山 治昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 茂喜 TEL 048-259-5111  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 2022年6月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期の連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	2,491	△2.6	△484	—	△481	—	△484	—	△484	—	△472	—
2021年3月期	2,506	1.0	50	101.2	53	82.3	43	79.7	43	79.7	50	78.9

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%	%	%	%	円	銭
2022年3月期	△61.13		△61.13		△18.0		△11.5		△19.5	
2021年3月期	5.53		5.47		1.5		1.2		2.0	

（参考）持分法による投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	%	%	円	銭
2022年3月期	3,963		2,486		2,486		62.7		312.67	
2021年3月期	4,399		2,891		2,891		65.7		367.15	

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2022年3月期	249		△284		26		838	
2021年3月期	438		△366		53		845	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	15	36.2	0.6
2022年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	15	—	0.6
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		37.0	

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,600	4.4	50	—	43	—	5.41	

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - (社名) -、除外 - 社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2022年3月期	7,951,100株	2021年3月期	7,947,100株
2022年3月期	18株	2021年3月期	70,918株
2022年3月期	7,927,324株	2021年3月期	7,861,436株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	774	△0.2	△20	-	1	△95.2	△208	-
2021年3月期	776	10.4	7	-	32	244.5	28	634.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	△26.25	-
2021年3月期	3.66	3.62

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年3月期	3,560	2,773	2,773	2,773	77.7	347.76	347.76	
2021年3月期	3,711	2,915	2,915	2,915	78.3	368.99	368.99	

(参考) 自己資本 2022年3月期 2,765百万円 2021年3月期 2,906百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 2
(4) 今後の見通し	P. 2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 2
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 連結財政状態計算書	P. 3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 5
(3) 連結持分変動計算書	P. 7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(1株当たり情報)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢による不安定な国際情勢に端を発する世界的なインフレの懸念等により世界経済及び日本経済共に不安定な状況が継続しております。

そのような状況の中、当社グループでは、グループ各社とのシナジー効果創生に向けて積極的に取り組むこと等の構造改革を行ってまいりました。その結果、通期連結売上収益が2,491,280千円（前期比0.6%減）となりました。

また、利益面につきましては、世界経済な景気減速による今後の日本経済の影響を考慮し、中期事業計画を見直し、減損損失として502,678千円を計上いたしました。当該減損損失計上により、費用性資産を圧縮することで、将来の減価償却費等が減少する見込みであることから、企業体質の強化を図ることができ、より一層の収益性向上が図れる体制を構築いたしました。

その結果、営業損失484,746千円、親会社の所有者に帰属する当期損失484,603千円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当社グループの当連結会計年度末における資産は、減損損失の計上により、のれん及び無形資産が減少した結果、前連結会計年度末と比べ435,455千円減少し、3,963,584千円となりました。

また、負債につきましては、前連結会計年度末と比べ29,832千円減少し、1,477,485千円となりました。

資本につきましては、親会社の所有者に帰属する当期損失を計上したこと等により、前連結会計年度末と比べ405,623千円減少し、2,486,099千円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、249,708千円の増加（前年同期は438,303千円の増加）となりました。主たる要因といたしましては、税引前損失を計上いたしましたでしたが、その損失の大半が現金の支出を伴わない費用である減損損失を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、284,168千円の支出（前年同期は366,727千円の支出）となりました。主たる要因といたしましては、有形固定資産及び無形資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、26,205千円の増加（前年同期は53,322千円の増加）となりました。主たる要因といたしましては、自己株式の処分による収入によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ6,432千円減少し、838,875千円となりました。

### (4) 今後の見通し

当社グループでは、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進支援及び新規技術の研究開発活動を強化してまいります。

DX推進支援につきましては、企業の行政手続の電子申請推進支援、大規模医療機関におけるHRテック推進支援について強化していく方針であります。

これらのことを考慮し、2023年3月期の連結業績予想につきましては、売上収益2,600百万円（前期比4.1%増）、営業利益50百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益43百万円と黒字転換となる見込みであります。

なお、本業績予想を反映した「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」につきましては、2022年6月中に開示させて頂く予定であります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確実要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務情報の国際比較可能性の向上による、国内外の投資家を含む様々なステークホルダーの皆様の利便性の向上を目的として、2018年3月期からIFRS（国際財務報告基準）を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	845,307	838,875
営業債権及びその他の債権	606,853	667,568
棚卸資産	67,661	74,544
その他の流動資産	41,694	36,592
流動資産合計	1,561,517	1,617,580
非流動資産		
有形固定資産	1,604,696	1,554,370
のれん	295,728	13,134
無形資産	756,642	576,331
その他の金融資産	177,460	192,822
繰延税金資産	1,367	8,758
その他の非流動資産	1,627	586
非流動資産合計	2,837,522	2,346,003
資産合計	4,399,040	3,963,584

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	181,008	181,008
営業債務及びその他の債務	472,036	495,285
その他の金融負債	26,678	26,585
前受金	236,361	210,649
未払法人所得税等	24,102	27,665
引当金	35,952	38,759
その他の流動負債	103,159	101,618
流動負債合計	1,079,298	1,081,570
非流動負債		
借入金	89,475	76,467
その他の金融負債	97,183	70,018
退職給付に係る負債	133,361	143,899
引当金	26,300	25,876
繰延税金負債	76,899	74,358
その他の非流動負債	4,800	5,295
非流動負債合計	428,019	395,915
負債合計	1,507,317	1,477,485
資本		
資本金	1,373,833	1,375,538
資本剰余金	1,245,856	1,294,841
自己株式	△31,747	△8
その他の資本の構成要素	80,960	93,263
利益剰余金	222,819	△277,536
資本合計	2,891,722	2,486,099
負債及び資本合計	4,399,040	3,963,584

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
	千円	千円
売上収益	2,506,557	2,491,280
売上原価	△1,598,731	△1,604,790
売上総利益	907,825	886,490
販売費及び一般管理費	△854,097	△871,967
その他の収益	12,661	8,284
その他の費用	△15,949	△507,553
営業利益	50,440	△484,746
金融収益	4,748	5,147
金融費用	△2,148	△1,654
税引前利益	53,039	△481,252
法人所得税費用	△9,565	△3,350
当期利益	43,474	△484,603
当期利益の帰属		
親会社の所有者	43,474	△484,603
非支配持分	—	—
当期利益	43,474	△484,603
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	5.53	△61.13
希薄化後1株当たり当期利益(円)	5.47	△61.13

## (連結包括利益計算書)

	前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
	千円	千円
当期利益	43,474	△484,603
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	7,195	10,676
純損益に振り替えられることのない項目合計	7,195	10,676
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	290	1,627
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	290	1,627
税引後その他の包括利益	7,485	12,303
当期包括利益	50,959	△472,300
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	50,959	△472,300
非支配持分	—	—
当期包括利益	50,959	△472,300

## (3) 連結持分変動計算書

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	1,373,833	1,236,586	△42,491	74,299	△825
当期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	7,195	290
当期包括利益合計	—	—	—	7,195	290
自己株式の処分	—	9,270	10,744	—	—
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	9,270	10,744	—	—
2021年3月31日時点の残高	1,373,833	1,245,856	△31,747	81,494	△534
当期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	10,676	1,627
当期包括利益合計	—	—	—	10,676	1,627
新株の発行	1,705	1,604	—	—	—
自己株式の処分	—	47,380	31,739	—	—
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	1,705	48,984	31,739	—	—
2022年3月31日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	92,171	1,092

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	合計
	合計	利益剰余金		
	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	73,474	195,050	2,836,453	2,836,453
当期利益	—	43,474	43,474	43,474
その他の包括利益	7,485	—	7,485	7,485
当期包括利益合計	7,485	43,474	50,959	50,959
自己株式の処分	—	—	20,014	20,014
配当金	—	△15,704	△15,704	△15,704
所有者との取引額合計	—	△15,704	4,310	4,310
2021年3月31日時点の残高	80,960	222,819	2,891,722	2,891,722
当期利益	—	△484,603	△484,603	△484,603
その他の包括利益	12,303	—	12,303	12,303
当期包括利益合計	12,303	△484,603	△472,300	△472,300
新株の発行	—	—	3,309	3,309
自己株式の処分	—	—	79,119	79,119
配当金	—	△15,752	△15,752	△15,752
所有者との取引額合計	—	△15,752	66,676	66,676
2022年3月31日時点の残高	93,263	△277,536	2,486,099	2,486,099

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	53,039	△481,252
減価償却費及び償却費	299,179	319,978
減損損失(又は戻入れ)	—	503,765
金融収益	△4,748	△5,147
金融費用	2,148	1,654
固定資産除却損	0	530
固定資産圧縮損	5,204	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,713	△12,016
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	51,708	△72,595
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	34,139	△1,085
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,658	6,692
引当金の増減額(△は減少)	1,123	2,801
その他	△2,811	△311
小計	442,039	263,012
利息及び配当金の受取額	4,748	5,147
利息の支払額	△2,169	△2,082
法人所得税の支払額	△6,313	△16,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	438,303	249,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,757	△26,977
無形資産の取得による支出	△282,477	△286,681
有形固定資産の売却による収入	—	8,085
敷金及び保証金の回収による収入	50	21,404
敷金及び保証金の差入による支出	△17,541	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,727	△284,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	88,000	—
長期借入金の返済による支出	△13,008	△13,008
リース負債の返済による支出	△30,491	△26,718
新株予約権の発行による収入	9,009	—
新株予約権の発行による支出	△4,306	—
新株予約権の行使による新株発行による収入	—	3,269
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	19,776	78,417
配当金の支払額	△15,657	△15,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,322	26,205
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,899	△8,254
現金及び現金同等物の期首残高	720,033	845,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	374	1,821
現金及び現金同等物の期末残高	845,307	838,875

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、当連結会計年度より以下の基準を採用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	COVID-19に関連した賃料減免の借手の会計処理の改訂 (2020年5月公表、2021年3月改訂)
IFRS第4号 保険契約 IFRS第7号 金融商品：開示 IFRS第9号 金融商品 IFRS第16号 リース	IBOR改革に伴い、既存の金利指標を代替的な金利指標に置換える時に生じる財務報告への影響に対応するための改訂

上記基準書の適用による連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループは、ネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客に対する売上収益は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	当連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)
	千円	千円
サービス	1,059,716	1,084,026
受託開発	648,160	549,567
商品販売	798,679	857,686
合計	2,506,557	2,491,280

## (3) 地域別に関する情報

## ① 外部顧客への売上収益

本邦の外部顧客への売上収益が連結損益計算書の売上収益の大部分を占めるため、記載を省略しております。

## ② 非流動資産

本邦に所在している非流動資産の金額が連結財政状態計算書の非流動資産の金額の大部分を占めるため、記載を省略しております。

## (4) 主要な顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、連結損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)	当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (千円)	43,474	△484,603
親会社の普通株式に帰属しない当期利益 (千円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 (千円)	43,474	△484,603
当期利益調整金額 (千円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 (千円)	43,474	△484,603
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	7,861,436	7,927,324
普通株式増加数		
新株予約権(株)	90,716	44,897
希薄化後の加重平均普通株式数(株)	7,952,151	7,972,221
基本的1株当たり当期利益(円)	5.53	△61.13
希薄化後1株当たり当期利益(円)	5.47	△61.13

(注) 当連結会計年度においては、新株予約権の行使が1株当たり当期損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。